トップ対談 | 佐賀市医師会新会長

市民の健康と暮らしを守る 佐賀市医師会

～安定的で継続した地域医療を届けるために～

団塊の世代が後期高齢者となる2025年が目前に迫り、日本は本格的な超高齢社会を迎えます。地域医療や高齢者福祉のさらなる充実が求められるなか、今年6月22日、佐賀市医師会の新会長に吉原正博氏（佐賀リハビリテーション病院理事長）が就任されました。市民の健康的な暮らしを支える佐賀市医師会の役割と今後の展望について、佐賀新聞社の中尾清一郎社長がうかがいました。

佐賀市医師会 会長
吉原 正博氏

医療法人智仁会　佐賀リハビリテーション病院　理事長
佐賀大学医学部臨床教授（医学科）
認定内科医・臨床医・産業医
- 昭和56年　久留米大学医学部卒業
- 昭和57年　佐賀医科大学（現・佐賀大学医学部）内科入局
- 平成元年　吉原病院勤務（現・佐賀リハビリテーション病院）
- 平成18年　全日本病院協会佐賀県支部理事
- 平成21年　佐賀中部広域連合介護認定審査会会長
- 平成30年　佐賀市医師会会長

好生館跡地に移転し、新体制スタート

中尾　このたびは佐賀市医師会会長へのご就任おめでとうございます。

吉原　5期10年お務めになった上村春雨前会長の体制を、今年6月から引き継ぐことになりました。今回は若い先生にもたくさん入っていただき、伝統ある佐賀市医師会に新しい風を吹き込むことで、より開かれた医師会を目指したいと考えています。

中尾　今年4月には佐賀市医師会館が水ケ江の好生館跡地に新築移転しました。明るく快適で、市民も利用しやすい施設になりましたね。

また、そこに市医師会立看護専門学校も移転し、今400人の学生たちが学んでいるそうですね。

■今年4月、佐賀市水ケ江の好生館跡地に移転オープンした市医師会館

吉原　医師不足と看護師不足は今、深刻な問題です。私たちが運営する看護学校は校舎が新しくなり、実習室や視聴覚室なども充実し、快適な学びの環境が整いました。これから数多くの優秀な看護師が育ち、ふるさと佐賀の医療、介護及び福祉のために活躍してくれるでしょう。

中尾　市医師会が運営する「休日夜間こども診療所」も新会館に移転しました。開業から3カ月、利用者も順調に増えているとか？

吉原　おかげさまで新診療所が市民に浸透してきて、利用者数もずいぶん伸びてきました。駐車場も診療所に近い場所に数多く確保できましたし、診察室や待合室も広くなりました。兵庫北のほほえみ館にあった時と比べて、格段に安全で利用しやすくなったと思います。

運営にあたっては、佐賀大学附属病院と小児科開業医の先生方にご協力いただいています。また、看護学校と同じ建物にあることで、情報・人材の交流もできます。今後も多くの皆さんに利用していただきたいですね。

これから必要とされる「高齢者医療」とは？

■より便利で快適になった休日夜間こども診療所

中尾　団塊の世代全員が後期高齢者となる2025年が目前に迫り、高齢者医療への対応も大きく変化する時代ではないでしょうか。

吉原　高齢者医療を取り巻く環境は、予想を上回るスピードで変化しています。医療技術が目覚ましく進歩し、ひと昔前までは難しかった高齢者の高度な手術も可能になることなどで、みなさまの健康と暮らしをより強く支えています。

これから医師を目指す人は、高齢者医療と介護福祉の分野にも関心を持ち、学ぶことが欠かせないでしょう。私が受け持つ佐大医学部の授業でも、学生たちの関心が高まっていると実感しています。

中尾　高齢者医療に対応するために、病院ごとの役割分担も進むのでは？

吉原　難しい手術や集中治療などは公立の基幹病院が担い、一般の治療やリハビリは民間の病院・診療所が担うようになります。

高度な医療設備や技術を持った基幹病院と、患者の身近にある「かかりつけ医」がお互いの長所を生かして協力できる体制をつくり、病気の治療や早期発見に努めることが大切になるでしょう。

中尾　質のいい医療を効率よく提供するための、医療連携は欠かせませんね。こうした連携は、佐賀では進んでいるのでしょうか。

吉原　県内の民間医療機関と、佐賀大学医学部附属病院や佐賀県医療センター好生館といった公的な医療機関との連携は非常にうまくいっていると思います。

市医師会でも、公立と民間の医師と定期的に懇親会を行い、交流を深めています。私自身、全日本病院協会の理事も務めているので、知り得た情報はどんどん発信し、より有益な関係を築いていきたいと考えています。

中尾　高齢者が住み慣れた地域で安心して生涯を送るために、在宅医療の体制づくりも求められます。

吉原　市医師会は市内5つの民間の拠点病院とともに、在宅医療の土台づくりを進めているところです。訪問看護師や歯科医、薬剤師、ケアマネジャーなどが集まって研修会も行っています。介護に関わるあらゆる職種が協力し、高齢者を包括的にケアできる体制をつくっていきたいですね。

老後も自立して暮らせる安心感を

■今年で5周年を迎える佐賀リハビリテーション病院"夢館"

中尾　吉原会長が理事長を務める「佐賀リハビリテーション病院」も、2007年にリハビリに特化した専門的な病院に転換されましたね。また、30年前に特別養護老人ホーム「つぼみ荘」を開設されるなど、介護福祉にもいち早く取り組んでいらっしゃいます。

吉原　高齢者が自立した生活を送り、寝たきりを予防するためにも、リハビリは重要です。さらに、体が不自由になっても明るく活動的に過ごせるように、5年前に病院に隣接して「夢館」を開設しました。高齢者のリハビリから認知症ケアまで、必要に応じた医療と介護サービスを提供しています。

中尾　看護学校の実習生を受け入れるなど、吉原会長はかねてから人材育成に非常にご熱心でした。300人近くいる職員には誕生日プレゼントを渡されているとか？

吉原　年々増えていく職員の名前と顔を覚えるために、毎年、職員全員に誕生日プレゼントを手渡しして、コミュニケーションを図るよう心がけています。職員が長く快適に働ける職場をつくることで、利用者の皆さんの安心感にもつなげたいですね。

地域に開かれた医師会を目指して

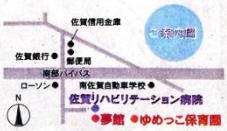
中尾　最後に新会長としての抱負をお願いします。

吉原　公立の勤務医から民間の開業医まで、できるだけ多くの先生方に医師会に加入していただきたいですね。市医師会は6月から新体制となり、最年少の理事は41歳という若さです。和気あいあいと話し合いをすることもあり、親しみを感じてもらえているようです。

医師同士も医師会活動を通じての横のつながりができれば、いざという時の協力もスムーズにできるでしょう。私たち医師が一体となって、地域の医療と高齢者福祉を支え、ともに発展することを願います。

中尾　吉原会長のお父様が県医師会長や日本医師会代議員会議員になられた時も、柔軟な組織づくりを通して地域医療を活性化されました。吉原会長のリーダーシップのもと、市医師会がますます活性化し、多くの市民が健康で、暮らしやすさを実感できるまちとなることを期待しています。

聞き手／
佐賀新聞社 社長
中尾 清一郎

安心して預けていただける
子育て環境をご用意しました。
佐賀リハビリテーション病院そば
ゆめっこ保育園

日本医療機能評価機構認定病院／回復期リハビリ病棟96床
医療法人 智仁会
佐賀リハビリテーション病院
〒840-0016 佐賀市兵庫南1丁目17-1 TEL(0952)25-0231 FAX(0952)26-6699
http://www.sagareha.or.jp/
診療科目 内科・神経内科・皮膚科・リハビリテーション科
診療時間 平日9:00～17:00／土曜日9:00～12:00 休診日／日祝日